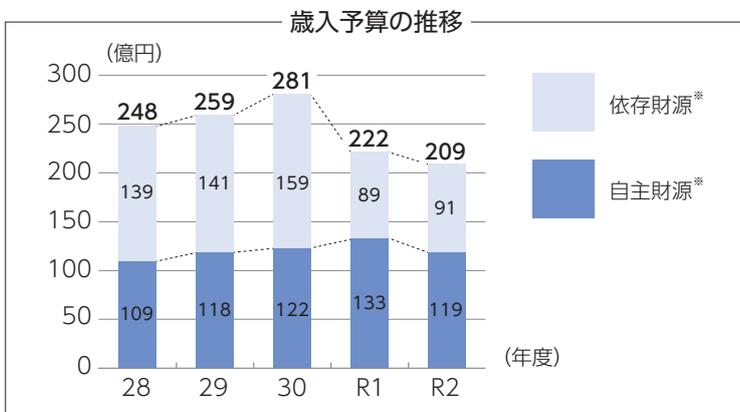


令和2年度 当初予算

令和2年度一般会計当初予算の総額は209億円です。合併に伴う建設事業が一段落し、農業や森林資源、観光などの新しい産業の芽を育てるための予算としました。

当初予算は1年間（一会計年度）に入ってくる収入（自主財源）と依

歳入 209億円

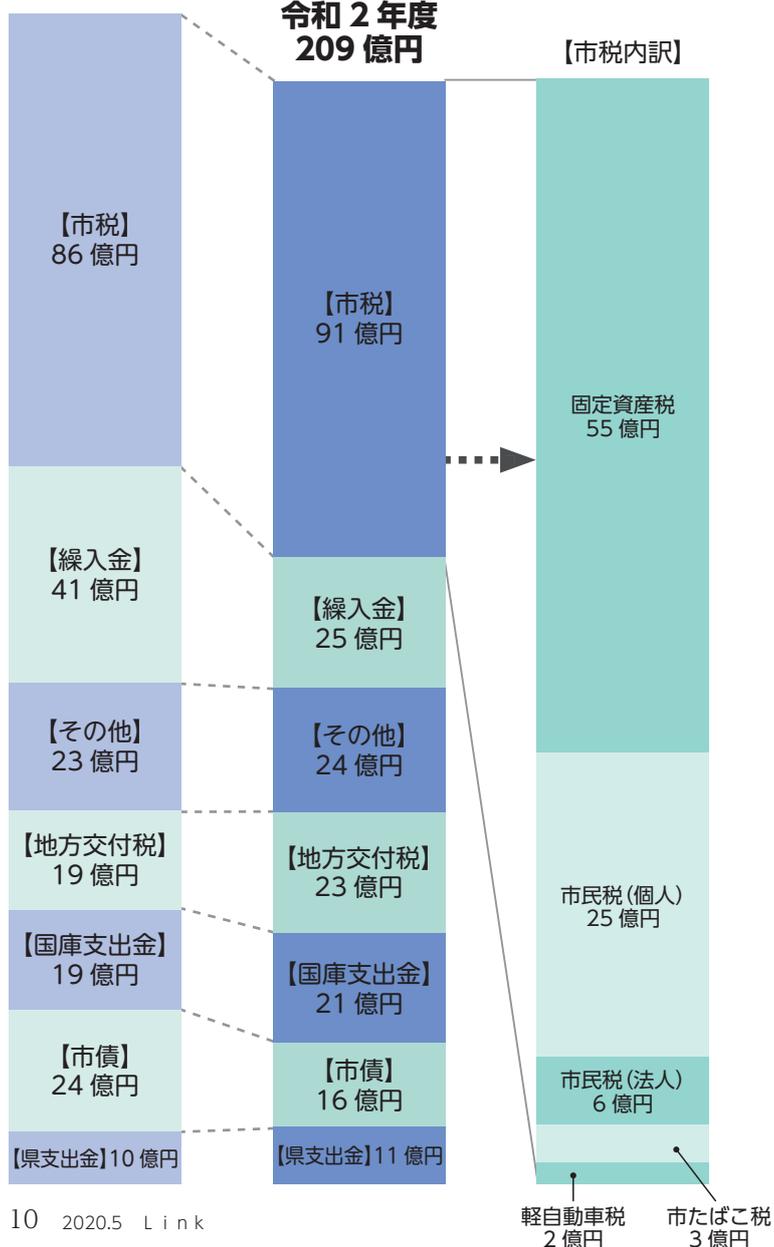


※自主財源…市民税、固定資産税など自主的に収入できる財源

※依存財源…地方交付税、市債、国庫・県支出金など国や県から配分される財源

令和元年度
222億円

令和2年度
209億円



市税（市民の皆さんから）

91億円（前年度比5億円増）を計上しました。固定資産税は前年度実績を基に5億円の増を見込みました。法人市民税は前年度実績を基に1億円の減を見込みました。

繰入金（貯金や他会計から）

25億円（前年度比16億円減）を計上しました。合併特例債などの借入償還に対応するため、基金（貯金）から一般会計へ繰り入れます。

地方交付税（国からの配分）

23億円（前年度比4億円増）を計上しました。法人市民税の減などで財源不足分が増加するためです。

国庫支出金（国から）

21億円（前年度比2億円増）を計上しました。保育所運営国庫負担金や生活保護費国庫負担金などによります。

市債（借金）

16億円（前年度比8億円減）を計上しました。インフラ施設などの整備事業の財源として借り入れます。

存財源を見積ったうえで、行政上必要な支出の金額をバランスよく計画することが大切です。詳細情報はホームページでご確認ください。

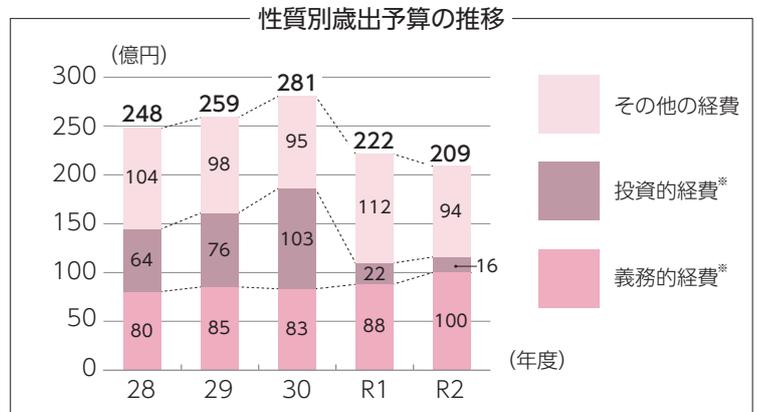


※金額は表示単位未満四捨五入のため合計が合わない場合があります。

問 財政課 ☎ 86-7742

歳出

209 億円

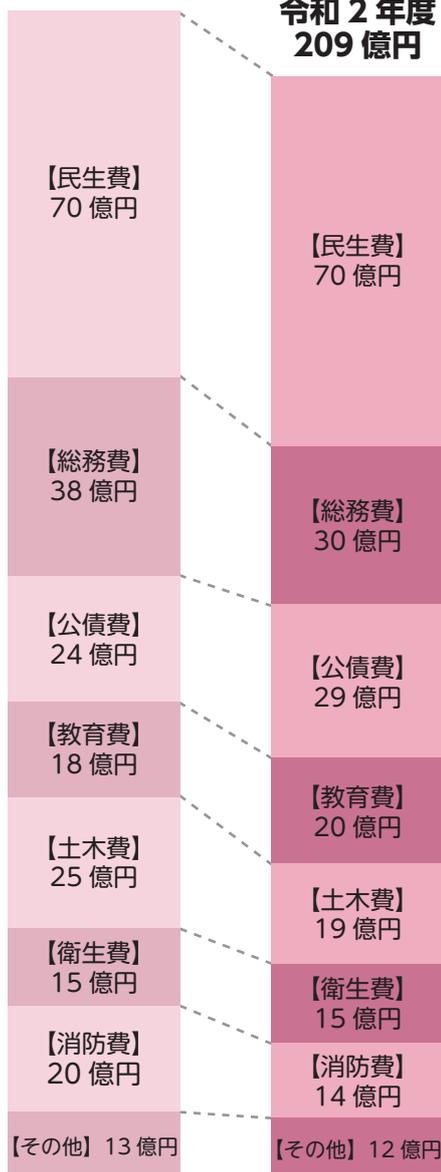


※義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費の3つ

※投資的経費…支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに支出される経費

令和元年度
222 億円

令和2年度
209 億円



【性質別歳出予算】



民生費（福祉に）

70 億円（前年度比増減なし）を計上しました。保育所の運営や福祉施策の充実を図ります。

総務費（税務・戸籍などに）

30 億円（前年度比8 億円減）を計上しました。庁舎移転事業が完了したため大きく減となっています。

公債費（借りたお金の返済に）

29 億円（前年度比5 億円増）を計上しました。合併特例債などで借り入れたお金の償還を行います。

教育費（学校教育などに）

20 億円（前年度比2 億円増）を計上しました。学校への ICT 導入などを進めます。

土木費（道路や公園などに）

19 億円（前年度比6 億円減）を計上しました。東海環状自動車道のインターチェンジへのアクセス道路の整備や通学路の自歩道整備などを進めます。

消防費（災害対策などに）

14 億円（前年度比6 億円減）を計上しました。消防車両の購入や防災施設の整備などを進めます。

その他

農林水産業費、商工費、議会費、諸支出金などを計上しています。